

KOUHOU KASAI

広報 加さい

特集号

No. **503** 2006 March 2006年3月31日発行

「全国に誇れる魅力ある
加西市の創造を目指して」

「平成18年度施政方針」



特集号の
主な内容



市 政 基 調	2
平成18年度予算	4
施 政 方 針(全文)	9

「全国に誇れる魅力ある

加西市の創造を目指して」 中川市長の挑戦



—3月1日(水)第208回加西市議会定例会において、中川市長より平成18年度施政方針が表明されました。また平成18年度予算が3月24日(金)の本会議で可決されました。あわせてご報告します。—

昨今の加西市を取り巻く経済情勢は、誠に厳しいものがあり、依然、税収の面では大きな伸びが期待できない状況にあります。

このような状況下、補助金削減、税源移譲、交付税見直しを一体的に行う所謂「三位一体の改革」は、緒についたばかりで、未確定の部分も多く、今後の加西市財政への影響を見極めていく必要があると考えております。

しかしながら、そのような中であっても、市民ニーズに的確かつ迅速に応え、職員の意識改革と業務の改善を徹底しつつ、財政再建の道程を着実に歩むことが私に課せられた最大のミッションである



と認識しております。

そのためにも常に市民の目線で考え、より質の高い市民サービスを低コストで効率的に提供する一方、市民に市政の現状を正確に伝え、色々な声を施策に反映する広報公聴活動に注力します。

「全国に誇れる魅力ある加西市の創造」を市政の基本理念として掲げ、美しい自然環境や豊かな歴史遺産など、加西の素晴らしい地域資源と立地特性を最大限に生かして、若者が夢を持ち、高齢者は生き甲斐を持って元気で長生きできる地域社会づくりに取り組みます。



市政展開の 7 本柱

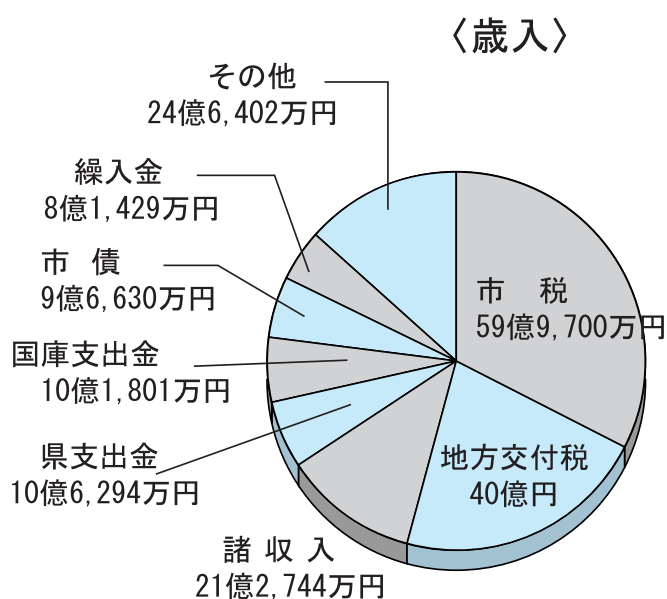
- 1 次世代向け施策の充実と少子化対策の推進
- 2 市民が健康で長生きできる生涯現役都市
- 3 特色ある学校教育と青少年の健全育成
- 4 新しい文化の創造とふるさと情報の発信
- 5 活力ある地域経済と定住の促進
- 6 環境と景観のまちづくり
- 7 安全・安心かつ快適生活のための都市基盤の整備

初予算について

平成18年度
当初予算総額

446億2,196万円

(前年度比 0.8%増)



平成18年度当初予算が、市議会3月定例会で議決され、全会計の予算総額は、446億2,196万円となりました。

今年度の予算編成は三位一体の改革等により歳入の大幅な増が期待できず、昨年に引き続き財政再建を主とした、厳しいものとなっていますが、市民生活の基盤整備となる下水道事業を始め、市民が安心して暮らせる快適な都市基盤づくりに取り組むとともに、地域の活性化、少子化への対応、加えて高齢化社会による医療・介護・福祉等に配慮したものとなっています。

企業会計 135億6,655万円
(前年度比 1.9%減)

病院、上下水道など、企業経営という観点を取り入れた会計

会計名	予算額
水道事業会計	20億4,649万円
下水道事業会計	48億5,355万円
病院事業会計	64億9,829万円
農業共済事業会計	1億6,822万円

特別会計 126億541万円
(前年度比 3.2%増)

介護保険や国民健康保険など特定の事業に限り、一般会計とは区別した会計

会計名	予算額
有線放送電話特別会計	4,314万円
国民健康保険特別会計	47億8,800万円
介護保険特別会計	30億3,200万円
老人保健医療特別会計	47億2,877万円
公園墓地整備事業特別会計	1,350万円

用語説明

歳入

- 市税
市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税など
- 地方交付税
地方自治体が一定水準の行政サービスを保てるよう国から交付される国税の一部
- 諸収入
預金利子、貸付金の返済金など
- 国庫・県支出金
国・県からの補助金など
- 市債
建設事業などの財源にあてるための長期借入金
- 繰入金
財源調達などのため、基金（市の貯金）を取り崩したものの
- その他
施設の使用料、住民票等の手数料など

歳出（目的別）

- 民生費
高齢者・障害者・子どもの福祉に使われる経費
- 公債費
借金の返済や利子の支払いにあてる経費
- 衛生費
健康の保持増進のための保健衛生事業、ごみ処理などの環境衛生事業などの経費
- 土木費
道路や公園、市営住宅などの維持管理、再開発や緑化などの都市計画事業などの経費
- 教育費
学校施設、公民館、図書館、スポーツ振興などの経費
- 総務費
戸籍、徴税、選挙、広報・広聴、防犯などの経費
- 農林水産業費
農地保全や農業振興、山林の管理等にあてる経費
- 諸支出金
公社貸付金や基金への積立にあてる経費
- その他
消防、労働福祉、商工業の振興、市議会の運営などの経費

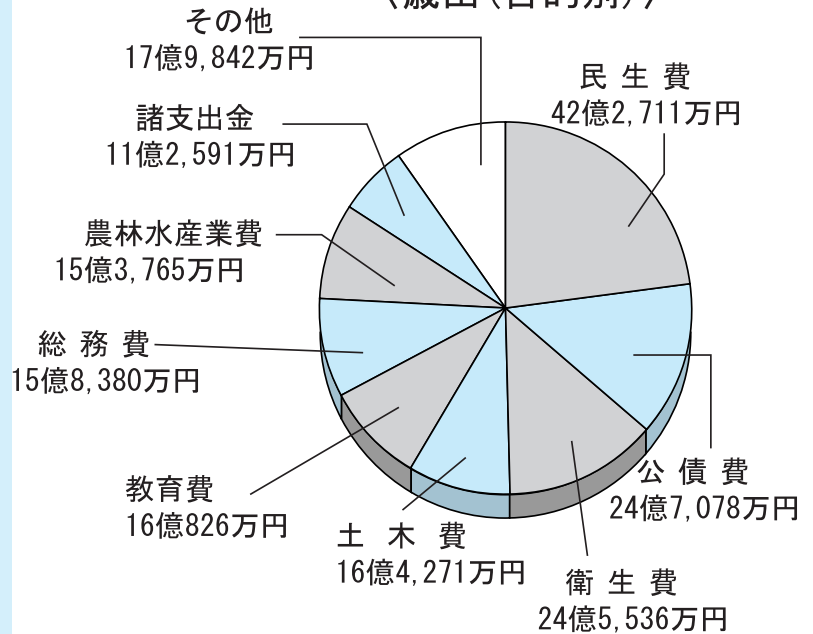
歳出（性質別）

- 人件費
議員・職員の給与などにあてる経費
- 補助費等
各種団体や企業会計等への補助金
- 公債費
借金の返済や利子の支払いにあてる経費
- 物件費
事務経費・施設の管理等にあてる経費
- 扶助費
高齢者・児童福祉・生活保護等の制度に基づき支払う経費
- 貸付金
産業振興や住宅建設促進等のために貸し付ける経費
- 普通建設事業費
道路・公営住宅・ごみ処理施設等の新增設等にかかる経費
- その他
施設の維持補修に係る経費や基金への積立金など

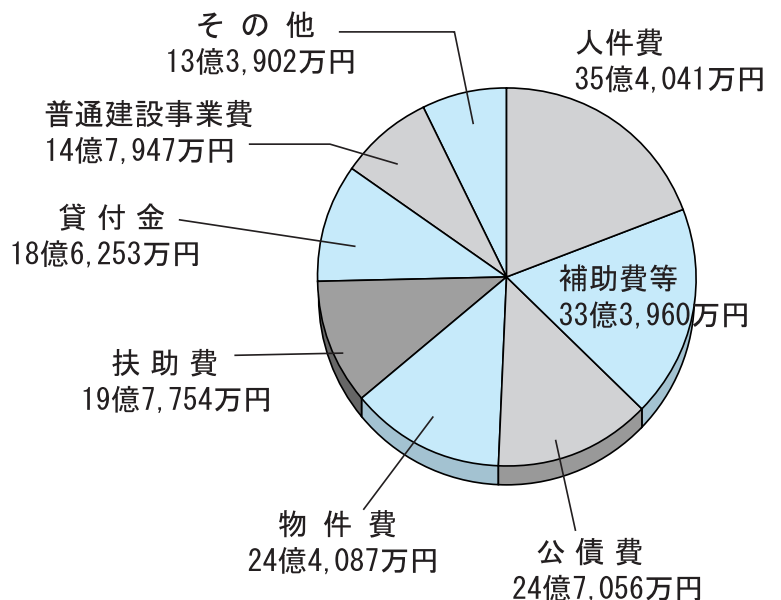
一般会計 184億5千万円
（前年度比2.6%減）

福祉や教育、環境・衛生など、
行政運営の基本的な会計

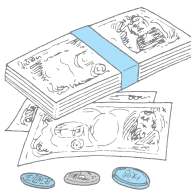
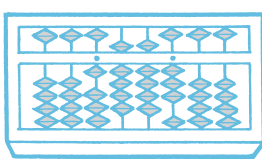
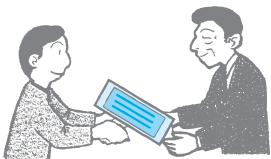
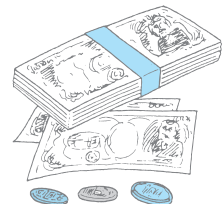
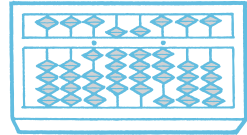
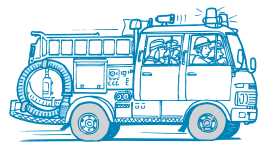
〈歳出（目的別）〉



〈歳出（性質別）〉



財政再建と小子化対策、環境・福祉にやさしいまちづくり

民生費  83,467円	公債費  48,787円	衛生費  48,483円	土木費  32,437円
教育費  31,756円	総務費  31,273円	農林水産業費  30,362円	諸支出金  22,232円
その他  35,511円	目的別 性質別 ＜一般会計＞ 市民一人当たりの予算額 約36万円 (364,308円) 平成18年2月28日現在 人口 50,644人		
人件費  69,908円	補助費等  65,943円	公債費  48,783円	物件費  48,196円
扶助費  39,048円	貸付金  36,777円	普通建設事業費  29,213円	その他  26,440円

財政再建推進計画の実施状況について

(平成17年度予算編成時点検)

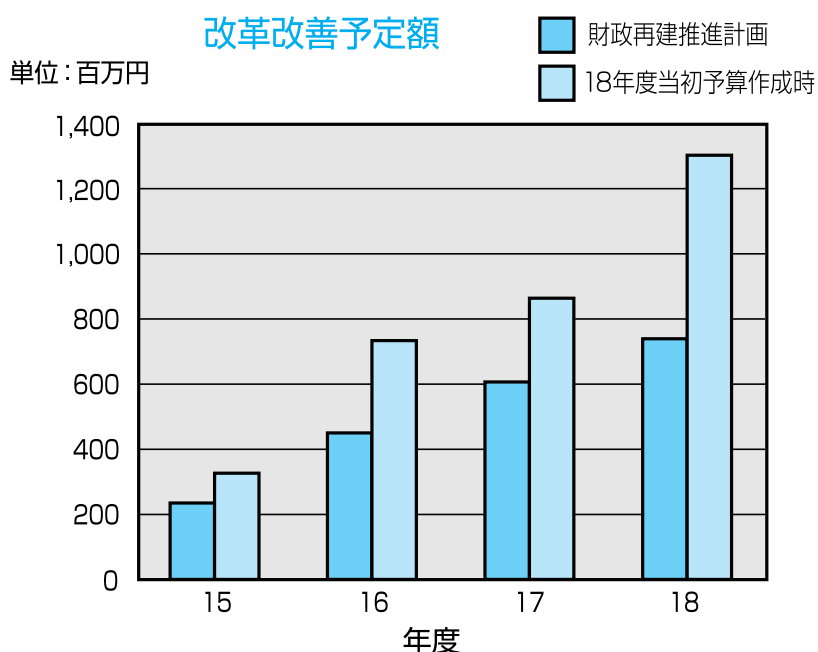
● 再建推進計画の定期点検

平成15年10月、本市において財政再建推進計画を策定しましたが、この計画では1年に2回、新年度予算編成時(第1次点検)及び決算確定時(第2次点検)に点検を行うこととなっています。

● 見直しによる効果額

平成18年度予算編成時での点検を行ったところ、改革改善による効果額は計画策定

時と比較すると5年間合計で16億500万円の増となりました。今回の点検で追加改善がなされた項目は、職員人件費の抑制、投資的経費の抑制、民間委託の推進による効果額などが挙げられます。



追加額
16億500万円
(5年間計)

《 改革改善予定額 》

(単位：百万円)

点 検 時	1 5	1 6	1 7	1 8	1 9	合 計
財政再建推進計画額 H15.11月	2 3 8	4 5 3	6 1 1	7 4 7	6 8 0	2,7 3 0
16年度当初予算編成時 H16.3月 (対計画)	2 6 5 (27)	6 0 9 (155)	6 4 3 (32)	7 8 7 (40)	7 2 9 (49)	3,0 3 3 (303)
15年度決算確定時 H16. 8月 (対計画)	3 2 8 (90)	5 8 8 (134)	6 0 3 (- 8)	7 4 7 (0)	6 8 6 (6)	2,9 5 2 (222)
17年度当初予算編成時 今 回 (対計画) H17. 3月	3 2 8 (90)	6 6 3 (209)	6 5 1 (40)	8 0 0 (53)	7 4 3 (63)	3,1 8 5 (455)
16年度当初予算編成時 今 回 (対計画) H17. 8月	3 2 8 (90)	7 3 8 (284)	6 5 8 (47)	8 0 2 (55)	7 4 5 (65)	3,2 7 1 (541)
18年度当初予算編成時 今 回 (対計画) H18. 3月	3 2 8 (90)	7 3 8 (284)	8 7 1 (260)	1,3 1 1 (564)	1,0 8 7 (407)	4,3 3 5 (1,605)

三位一体の改革による財源と権限の移譲

三位一体の改革は、国が法律によってその用途を厳しく定めている地方自治体への補助金を減らし、その代わりに国は地方自治体が地域の実状に応じて自由に使えるお金をその分だけ地方へ移すというもので、その配分や補てんについては、地方交付税によって公平にかつ明解にその格差の調整を果たすことが望まれています。

地方分権を進めるため、国から地方への税源と権限の移譲を行い、同時に交付税制度の見直しを進め、効率的な支出により国・地方財政状況の改善を図っていくのが三位一体の改革のねらいです。

三位一体の改革による加西市財政への影響

三位一体の改革の結果、国全体で平成16年度から18年度までに、4.7兆円の国庫補助負担金の改革、3兆円の税源移譲、5.1兆円の地方交付税が減額されました。

平成18年度予算の編成にあたり、三位一体の改革の全体像が浮かび上がるにつれて、加西市財政への影響額は、9,693万円の予算減となりました。その内訳は以下のとおりです。

影響額 ▲ 9,693万円（平成18年）

国・県の補助金の削減

▲ 3億 1,226万円

平成16年の公立保育所の運営補助、介護保険の事務費補助金、17年度の在宅福祉事業補助金や住宅家賃収入補助金に続き、今年度は児童手当負担金、老人保護措置費負担金、農業共済事業事務費負担金などが新たに削減されました。

国から地方への税源移譲等

5億 2,433万円

平成16年に創設された所得譲与税により、国税である所得税の一部が、各市町の人口規模に応じて配分されています。

また、今年度は税源移譲地方特例交付金も新たに追加されました。

交付税制度の改革

▲ 3億 900万円

過去の建設事業で借り入れた借金の返済や下水道経営対策に係る費用の増加で交付税額が伸びる要素がありますが、総額では借金に振り変わった臨時財政対策債の減少により、全体で減額となります。

次世代向け施策の充実と

少子化対策の推進

民間事業者や各種団体と連携して、男女の出会いの機会を演出します。そして、安心して子どもを生み育てられるまちづくりのために、「かさい子ども・子育て応援プラン」に沿った少子化対策や若年層の賃貸住宅入居問題などに取り組みます。

保育サービスの充実

- ・働きながら子育てする世帯のために、延長保育、一時保育、預かり保育（幼稚園）、学童保育（小学校）などを柔軟に受け入れます。
- ・将来を見据え幼稚園構想をさらに推進します。
- ・新年度より、市内の公立私立各一園で、朝7時から夜8時までの保育サービスを実現します。



子育てネット開設にむけて

- ・つどいの広場「ねひめキッズ」やラヴィかさい「児童療育室」により、子育ての悩みや不安を解消するとともに、親同士・子供同士の交流の輪を広げ、有益な子育て情報の提供等に努めます。
- ・専門家による発達相談と療育相談並びに子どもが社会性を身につける講座を開催いたします。
- ・保護者特に母親が子育てに対する不安や悩みを一人で抱えることがないよう、健康診査、乳幼児保健相談、すくすく相談窓口、家庭訪問等でも支援します。



負担の軽減

- ・児童手当の支給対象枠をこれまでの小学校3年から、新年度は、小学校6年生まで拡大します。
- ・0歳から3歳未満児までの医療費負担の免除と第2子からの幼稚園入園料の無料化を継続します。



市民が健康で長生きできる

生涯現役都市

高齢者や障害者も安心して暮らせ、みんなが健康で長生きできるまちづくりをすすめます。

医療・保険

市立加西病院

市民から安心・信頼される

公立病院として、質の高い急性期医療を提供しています。今後、患者の視点に立って、医療のより一層の質向上を図るため、医療職の確保、病院機能評価の受審、経営の効率化などに取り組みます。

国民健康保険事業

収納対策の強化による保険税の増収、医療費の適正化、保健事業の推進、健康意識の向上等を図り、安定的な運営に努めます。

介護保険事業
介護保険法の改正を受け、「高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画」の策定



「地域包括支援センター」を設置

高齢者の介護予防と介護給付の適正化を図ります。また、全ての高齢者を対象に在宅福祉事業、高齢者生きがい事業を実施し、「活動的な85歳」社会ないしは「生涯現役都市」の実現を目指します。

生活習慣病の予防など、地域の健康づくりや介護予防体制の充実を図ります。

社会福祉

障害者家庭・母子家庭・生活保護世帯等の、特に支援を必要とする家庭に対し、それぞれの自立に向けた就業支援、経済的支援等を総合的に推進するとともに、必要なサービスが必要ときに受けられるようにします。



特色ある学校教育と

青少年の健全育成

新しい教育体制

- ・新学習システムによる少人数学級やヤングアドバイザー等によるきめ細かい指導を実施します。
- ・総合的な学習の時間や体験学習等を通じて「自ら学び自ら考える力」を育み、「生きる力」と「確かな学力」を身につかせます。
- ・自然学校やトライやる・ウィーク、体験活動、ボランティア活動等を通して、豊



かな人間性と社会性を育みます。

- ・特別活動で様々な運動を取り入れるとともに、給食指導や家庭科学習で栄養に関する指導を行います。

なお、学校施設の建替え計画や学校給食については早期実現に向けて最大限の努力をしています。

安全なまちづくり

- ・ワッショイ・スクール推進事業、防犯訓練などにより、子どもたちの安全確保に努め、安全・安心な学校・園づくりを推進します。
- ・児童生徒の下校時における不審者対策として、「子ども110番の車」でパトロールを行うとともに、保護

者や地域の協力を得て、下校指導、お帰り運動、地域の大人たちによる声かけ、見守り運動としての「根日女ハート・ブリッジ運動」等を展開します。

安全・安心の街づくりは、学校、家庭、地域社会が相互



に密接な連携を図ることが大切です。その一環として、「地域子ども見守り隊」を既に立ち上げており、新年度から本格スタートします。



文化の充実

図書館

情報発信の拠点として、より一層市民に親しまれ、愛されるようサービスの向上を図ります。アステシア加西のその他の機能と連携させながら、児童、生徒はもとより、生涯学習の基盤として、より一層の活用を図ります。

玉丘史跡公園

玉丘史跡公園「根日女ロマンの郷」において、埴輪づくり・綿づくりなどの歴史的体験学習を実施し、ふるさとの歴史への関心と理解を深め、文化財の保護と伝統文化の継承にも積極的に取り組みます。



学校教育施設

大変厳しい財政状況ではありますが、早期に建替えに着手できるよう児童・生徒数の動向を見定めながら、市民に将来像を示します。

新しい文化の創造と

ふるさと情報の発信

全国の自治体に先駆けて
色々な新しい取り組みを展開し、積極的に行財政改革を推進することにより、全国に向けて加西を情報発信します。

情報の発信

のじぎく兵庫国体の

正式競技として軟式野球一般Bを、デモンストレーション行事としてオリエンテーリングを、スポーツ芸術として花の美術大賞特別



展を開催します。これを機に「全国に誇れるまち加西」を広く全国にアピールします。

広報とホームページ

市役所ホームページは、広報紙と並ぶ主要な市の広報メディアであります。内容の充実と定期的かつ小まめな更新を図り、誰もが見やすく、利用しやすいホームページとなるよう配慮します。

近隣市町や都市住民に対し、加西市の素晴らしさやイベント情報・観光情報を発信します。

新しい取り組み

指定管理者制度の導入

公の施設の管理運営について、市民サービスの向上と経費削減のために、可能な限り早期に、指定管理者制度へ移行します。

市内公共施設の利用料についてもサービスの原価をもとに受益者負担の考えを取り入れて、市民から適正な利用料収入を得て、施設の維持補修等のための財源として活用できよう検討します。

市民交流について

「スポーツクラブ21ひょうご」の推進や、市体育大会など市民の交流や体力づくりに取り組みます。

・市民活動の拠点である地域交流センターの活性化のため、市民のまちづくり活動など、市民参画の機会を広げ、より充実したプログラムとサービスメニューを用意します。

電子申請

電子申請共同運営システムを、3月から順次運用開始し、申請手続きの電子化を図っております。今後もセキュリティ対策を強化しながら電子自治体の構築を進め、他市町との広域連携と業務効率化に努めます。

活力ある地域経済と

定住の促進

魅力あるまちとは、若者が定住でき、他都市の住民が住みたくなるようなまちです。質の高い行政サービスを効率的に提供すれば、各地からヒト・モノ・カネ・情報などが集まり、経済活動や地域間交流が活性化できます。民間事業者による良質な住宅開発を誘導し、おしゃれなまち加西を創造するとともに、新規定住者を増やします。

農業の再生・加西ブランドの創造

低コスト・高生産性の農業経営
集落営農組織や認定農業者
を中心とした担い手を育成
し、農用地の有効利用による
低コスト・高生産性の農業経
営を推進します。

(全国初)農林・食材課を設置

かさい愛菜館や学校給食な
ども活用しながら地域農作物
の消費拡大と地産地消を推進
します。

自然を利用した交流イベント

都市住民が週末や休日など
に加西を訪れ、散策や農業体
験、収穫を楽しめるよう貸農
園を整備したり、交流イベン
トを企画します。



地籍調査

地籍用地課を新たに設置し、例年の2倍以上の速度で地籍調査を推進します。

農村整備と景観の維持

荒廃の進む里山林の整備・保全などを推進し、生態系や自然環境との調和など、美しい農村景観の維持・保全に配慮しつつ、ため池等の改修や県営かんがい排水事業、万願寺川南部地区のゴム堰改修及び天下溝改修事業を実施します。

商工業の振興

新規産業の支援

市内産業の高度化・高付加価値化を目指して、新事業創出活動を支援します。また、産業団地への企業誘致をより一層推進し、新年度上半期中に、南産業団地、東産業団地に数社の立地を決定したいと思えます。

市内共通商品券

昨年度から始めた市内共通商品券発行事業の一層の支援拡充。

三洋電機跡地

三洋電機北条工場跡地に新しい時代にふさわしい開発利用を誘導することで、中心市街地のにぎわい創出、雇用確保と産業の活性化、税収増につなげます。



魅力的な観光資源

特産品と従来の観光資源

市内の豊かな自然環境と歴史的・文化的資源を活かして、個々の観光資源を洗練しまた特産品を開発することで、魅力ある加西市を目指します。



サイサイまつり

市民参画によりサイサイまつりを開催し、より一層の充実を図ります。

環境と景観のまちづくり

加西市が他に誇れるものとして、素晴らしい景観と豊かな農業空間があります。ため池や里山の景観はお金では買えない市民共有の財産であり、動植物のゆりかごです。加西市は人間性回復のための絶好の空間資源を提供できると考えます。

加西市環境基本計画

環境マネジメントシステムでは、エコアクション21認証・登録事業所として運用を行っています。また、加西市環境基本条例、加西市民の美しい環境をまもる条例の市民への周知啓発を行い、良好な

生活環境の確保、公害の未然防止、監視等に取り組みます。

バイオマスタウン構想

近畿自治体第一号としてバイオマスタウン構想を本市が策定したことを契機に、加西の歴史・文化・農業・生態系などについて環境の切り口から市内外に情報発信していきます。

具体的には食品廃棄物を活用した飼料生産に取り組む民間事業者を加西南工業団地に誘致したり、ゴミ処理では、北条地区の収集業務を民間委託し、分別収集及び5R（リデュース、リユース、リファイン、リサイクル、リペア）を推進していきます。行政、市民、事業者が一体となって循環型社会の構築に取り組むことによって市民の環境意識を高め、環境負荷が少ないライフスタイルを誘導し、ひい

ては財政にゆとりを生じさせるものと考えます。

花のまち加西

条例強化等による廃棄物の不法投棄、野焼きのない美しいまちづくり、クリーンセンター及び斎場の、効率的な維持管理、さらに都市公園の適切な維持管理とまちの美化活動の推進により、「花のまち加西」にふさわしい町並みの整備、うるおいと安らぎのある明るい郷土づくりに努めます。



安全・安心かつ快適生活のための 都市基盤の整備

アステアかさいと北条鉄道

アステアかさいと周辺商業ゾーンを中心市街地としての活性化に努めるとともに、都市機能を高めるため、街路北条栗田線、県道三木山崎線の笠屋交差点まで、および丸山工区を早期に整備できるよう関係部局に要望します。

また、行政として北条鉄道の経営再建を支援します。安全性やサービスの質を一層高めつつ、年間の赤字額を大幅に減らします。

道路基盤の整備

新規住宅用地を確保するために、市街化調整区域の秩序ある土地利用を誘導すべく、兵庫県が創設した特別指定区域制度の地元説明会を全市内全町で実施します。

道路基盤の整備につきます



では、主要市道として計画しております西谷坂元線をはじめ北条長線、桑原田中野線の整備促進に努め、老朽化している市内道路の舗装補修や、市街地を中心に歩道の段差解消などのバリアフリー化によって、人にやさしい街づくりを進めてまいります。

国道、県道の整備に関し、国道372号線、県道三木山崎線、県道滝野市川線の改良整備、また県道滝野市川線釜坂峠のトンネル化に向けた活動を強化します。県道玉野倉谷線については、加西市の南北交通軸ないしは骨格道路として位置付け、交差点の改良及び自転車歩行者道の早期整備を県関係部局に要望していきます。

上下水道事業

上下水道事業は、老朽管の更新と管網の整備を、下水道の整備事業と併せて実施し、地震など自然災害に耐える供給網を整備します。

下水道事業では、市民の快適な生活と河川等の水質保全を図るため、引き続き整備の

促進に努めるとともに、接続促進とその他の市民PRにより、下水道事業の健全化に取り組みます。

公共下水道では九会地区ほかの整備を進め、市内全域の下水道整備を平成20年度に完了すべく事業推進に取り組めます。

新年度からは、ゴミ収集業務の民間委託に加え、上下水道事業の一部業務の民間委託を実施し、本庁舎2階に「上下水道お客さまセンター」を開設しました。サービスの向上とより一層のコスト低減を図り、経営基盤の安定化と安全・安心な水の供給に努めてまいります。



防災

山崎断層地震への対応、一連の災害対策検証、水防法の改正等に基づき、地域防災計画の見直し、かさい防災ネッ

トの普及促進、自主防災組織を中心とした災害対応訓練の実施、河川洪水ハザードマップの作成等、防災対策の改善と防災意識の喚起を図ります。



消防

安全安心な市民生活を確保するため各種訓練や研修を通じて、消防・救助技術等における隊員の資質向上に積極的に取り組むとともに、防火対象物並びに危険物施設の立入検査を実施し、防火管理の徹底と消防用設備等の適切な維持管理並びに危険物の適正な貯蔵・取扱い指導に努めます。消防法の改正を受けて、一般住宅における防火対策として住宅用火災警報器の設置推進を図ります。

救急

「気管挿管」等の研修を実施するとともに、救急救命士の増員を図り、円滑でより高度な救急業務を心がけます。また、救急隊到着までの空白時間の解消のため、市民救命士の養成・再講習に努めます。



のじぎく兵庫国体施設整備(加西球場)
(1,500)
国体本大会に向けて、加西球場の整備を図る。

5. 活力ある地域経済と定住の促進

中小企業事業資金の融資 (527,000)
運転・設備資金を低利で融資する。

産業振興促進奨励金の交付 (77,100)
産業団地に進出する企業や市内で事業拡大する企業に奨励金を交付する。

市内共通商品券の発行 (3,000)
市内共通商品券発行事業を支援する。

観光事業 (7,180)
市民の参加・参画による加西サイサイまつりや観光客の誘致を図る施策に取り組む。

特産品開発補助 (500)
加西市の特産品の開発及び販売活動を支援する。

地籍調査事業 (14,603)
地籍の明確化を図り、土地の権利義務を保護する。

鳥獣害防護柵設置事業 (6,431)
野生動物の防護柵を設置し、農作物の保護を行う。

農地対策 (59,736)
ため池整備、天下溝改修、起伏井堰改修事業。

基盤整備促進事業 (26,270)
鍛冶屋地区天下溝改修に着手する。

国営かんがい排水関連事業 (584,751)
安定した農業用水の確保と施設の維持管理の軽減を図る。

農村振興総合整備事業 (71,877)
在田地区において、地域農業の振興と地域の持続的な発展、活性化を図る。

6. 環境と景観のまちづくり

花咲く街角事業 (2,444)
「加西市花いっぱい運動」を展開する。

田園景観整備事業 (280)
北条鉄道沿線に菜の花を栽培し、美しい景観の形成を図る。

バイオマス推進事業 (285,488)
「加西市バイオマスタウン構想」に基づき、その実現に向けての啓発活動及び検証を行うとともに、食品バイオマス事業を支援する。

松くい虫防除事業 (10,670)
松くい虫の駆除及び蔓延防止のため、特別防除、伐倒駆除を行う。

街路事業 (235,750)
北条栗田線、三木山崎線の整備及び電線類の地中化を推進する。

埋立最終処分場整備事業 (50,000)
防災用の調整池に着手する。

北条地区ごみ収集事業の民間委託 (16,014)
北条地区の完全民間委託を実施する。

7. 安全・安心かつ快適生活のための都市基盤の整備

洪水ハザードマップ作成事業 (6,900)
洪水ハザードマップを作成し、情報提供を行う。

国民保護計画の策定 (550)
国民保護法に基づき国民保護計画を策定する。

道路維持管理事業 (59,123)
市道の維持管理の充実を図る。

防衛施設周辺整備事業(道路整備) (67,620)
桑原田中野線の用地買収、物件補償と道路改良工事及び歩道橋下部工の整備を行う。

安全安心のまちづくり事業 (10,000)
人にやさしい街づくりを行い福祉環境の充実を図る。

道路新設改良事業 (283,362)
西谷坂元線、北条長線外7路線の道路改良事業を推進する。

交通安全施設の整備 (7,750)
交通安全施設の整備を図り交通安全を推進する。

街なみ環境整備(住宅地区改良)事業 (3,000)
市街地の防災対策の調査・計画を策定する。

吉野団地(第Ⅲ期)の建設工事 (62,800)
老朽化した木造住宅を建替える。

土地利用計画策定事業 (5,517)
市街化調整区域の土地利用計画策定により、特別指定区域制度の活用を図る。

上下水道業務の民間委託 (30,555)
上下水道業務の料金収納業務、滞納整理業務や水道の開閉栓業務等を民間委託する。

水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給 (908)
水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給を行う。

水道事業 (447,516)
老朽管更新と管網整備を下水道事業と併せて引き続き実施実施する。

下水道事業 (1,220,586)
汚水管布設工事。



平成18年度 予算トピックス

— 主な事業内容 —

() 内は、事業費、単位：千円

1. 次世代向け施策の充実と 少子化対策の推進

子育て「つどいの広場」(4,828)

「つどいの広場」をより充実させる。

保育事業の充実 (6,305)

延長保育事業の充実を図る。

子育てに関する相談 (2,595)

子どもと子育てに関する総合相談の体制を整備。

児童手当の支給対象の拡大 (112,105)

児童手当の支給枠を小学校6年生修了までに拡大する。

プレママ教室の充実 (69)

プレママ教室を2コースにし、開催回数を年8回に増やす。

幼稚園入園料を同一家族2人目から無料

入園料を2人目から無料とする。

預かり保育事業 (3,822)

北条幼稚園、九会幼稚園、日吉幼稚園で午後2時以降の預かり保育を実施。

就学就園奨励事業 (1,660)

特殊教育就学・私立幼稚園へ就園する児童生徒に継続して補助事業を実施。

未就園児親子の交流

北条、下里、富合の各幼稚園の園舎や園庭を開放。

北播磨地区子育てフェスティバルの開催 (93)

「子育てフェスティバル」を開催し、子育てネットワークを拡充する。

青年ふれあい交流セミナーの開催(40)

ふれあいテニス、ふれあいバーベキューの開催。

青年ふれあい交流会の開催 (50)

「青年連絡会えんどれす」によるテニス大会を開催する。

2. 市民が健康で長生きできる 生涯現役都市

地域支援事業 (74,715)

介護予防事業の実施、高齢者の総合的な相談、生活の自立に向けた支援を図る。

地域包括支援センターの設置 (28,566)

地域包括支援センターを介護長寿課内に設置。

障害福祉計画の策定 (1,700)

「障害者自立支援法」施行に伴う事業計画の策定。

相談支援事業の強化 (4,000)

障害者の相談支援業務を専門機関に一部委託。

善防園改修工事 (7,600)

善防園のトイレ・シャワー室の改修。

基本健康診査項目を充実 (210)

65歳以上の受診者の全ての人に、生活機能評価に関する問診と、血液検査項目にアルブミンを追加。

乳がん検診の充実 (1,203)

乳がん検診の検診日数を昨年度より1日増やし、6日実施する。

市民に開かれた病院づくり事業 (50)

市民参加のもとにホスピタルフェアを9月に実施。

病院機能評価の受審 (2,100)

外部機関の病院機能評価を受審する。

医療機器の整備事業 (77,000)

手術や診断のための最新で高度な医療機器の配備・更新を行う。

3. 特色ある学校教育と 青少年の健全育成

児童安全対策事業 (2,000)

「見守り隊」の発足に向けて、ジャンパー及びボランティア保険の補助をする。

防犯対策事業 (1,495)

児童生徒の通学路に防犯灯を設置する費用を増額する。

教育施設改修事業 (23,000)

- ・ 宇仁小学校体育館屋根改修工事
- ・ 下里小学校UV対策工事
- ・ 西在田小学校プール塗装・配管改修工事
- ・ 北条中学校校舎屋根改修工事
- ・ 北条中学校プール塗装工事

ワッショイスクール事業 (165)

学校における子どもたちの安全を守るため市内全小学校において地域の方が校内をパトロールする。

「ヤングアドバイザー」事業 (1,890)

中学校に大学生を補助員として採用し、生徒の指導を行う。

学びのサポーター (3,840)

通常学級において特別支援が必要な児童に対する指導法について、支援していく。

食の教育に配慮した給食食器の充実

(1,352)

給食の食器をアルマイト食器からPEN食器に買い換える。

4. 新しい文化の創造と

ふるさと情報の発信

ブルマン市訪問団受入れ (40)

友好都市ブルマン市から中高生親善訪問団を受入れる。

電子申請共同運営システム (2,766)

申請や届出の一部を自宅や職場からインターネットを活用して手続きを行うようにする。

NPO支援講座「コミュニティ・ビジネス講座」(45)

地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する「コミュニティ・ビジネス」に関する講座を開催。

兵庫県都市区対抗駅伝競走大会の開催

(1,890)

兵庫県都市区対抗駅伝競走大会を開催する。

ぜんぼうグリーンパークの整備(2,000)

「ぜんぼうグリーンパーク」の整備を図る。

のじぎく兵庫国体の開催 (18,900)

軟式野球、オリエンテーリング競技、スポーツ芸術の開催。



おわりに

今、加西市役所に求められているのは、新しい時代に合わせた行財政運営の仕組みづくりと職員の意識改革です。そして市民ニーズに応え、より質の高いサービスを低コストでタイムリーに提供することが重要であり、そこにこそ、民間企業で顧客満足を考えながら経営を学んできた市長や助役の役割と存在意義があると考えます。新しいことにチャレンジする市役所、クリエイティブに行動する職場づくりを推し進めながら、市政運営にあたっていききたいと思えます。

納税者の苦勞に思いを致し、市役所を挙げて税金の無駄使いをなくすこと、意思決定を早め、業務効率を高めて、市民のニーズに即応することを常に念頭に置きながら、加西市再生に邁進いたします。

議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。誠に申し上げまして、施政への所信表明といたします。